

村山祥栄

リニア誘致、一步前進
新たな双京構想を提唱

ただ、
京都の未来のために。

京都市会議員

村山祥栄

街頭演説会 左京区各所 随時

掲示責任者 川村太一 京都市左京区下鴨貞船町46 印刷所 プリントショップ美木 京都市左京区下鴨貞船町43-1

特集 積年の議員定数削減、2名減で決着！
責任を取らない行政、水没世帯は泣いている！

ポスター完成です！！
ご自宅等掲示頂ける方、
下記までご一報下さい。
TEL 075-712-9962

村山 祥栄(むらやましょうえい)経歴

- 昭53年2月7日生 下鴨在住
- 衆院議員秘書、(株)リクルート勤務
- 地域政党京都党代表
- 著書：京都・同和「裏」行政（講談社）、地域政党（光村推古書院）
- 下鴨小、東山中、東山高、専修大学法学部卒
- 25歳最年少で市会議員初当選以来、現在3期目。
- 政治姿勢：本来あるべき姿に正す「原点回帰」

市民の手で議員定数削減！前進！

市民の手で市会議員の数を減らそう！京都党結党後、議員も身を削って行政改革の先頭に立つべきだと市会議長に申し入れを行いました。そんな申し入れは不要だと拒否をされました。自浄作用が働かない議会に対し、市民の手で削減を実現すべく、私が代表請求者となって、直接請求という署名運動を展開しました。1ヶ月で37,658名もの方にご署名頂き、議員定数9名減を求める直接請求が成立し、3年前に臨時議会が開かれました。しかし、議会はこの市民の声を**満場一致で否決、削減不要という結論**を出しました。市民の声を無視し、自らの保身を選んだ議会に対し、強い憤りを感じたことをはっきりと覚えております。そして、皆様から署名という形でお託し頂いた想いを必ず形にするという決意の中で議会活動を続けて参りました。市会改革委員会でも議員定数が重要テーマとして位置付けられ、この3年間議論を重ねられてきました。

そして、2014年2月定例会で結論として出された結果は・・・

定数2名減というお茶を濁すような結果でした。満場一致で否決された前回と比べれば大きな前進であるとは言えますが、私たち市民が訴えた9名減とは程遠い答えでした。しかし、皆様にご協力頂いた直接請求が定数削減議論のきっかけとなり、定数削減が進んだことは大きな意味があります。改めて心より御礼申し上げます。

私は、**市民が動けば政治は変わる、そう確信しています。**

これで納得した訳ではありませんので、引き続き、ありとあらゆる手段を検討しながら、議員定数削減を実現すべく取り組みを続けます。

また、結果として、地元の左京から定数は削減されますが、自分なりに精一杯頑張りたいと存じます。引き続き宜しくご指導下さい。

臨時議会当時	
・自民党	削減反対
・共産党	削減反対
・民主党	削減反対
・公明党	削減反対
・京都党	9名減



今回	
・自民党	4名減
・共産党	削減反対
・民主党	2名減
・公明党	2名減
・京都党	9名減



**議員定数
2名削減**
(左京区・上京区)

京都党の議員定数削減案
全会一致で否決
京都市議会

京都市の地域政党「京都党」議員定数削減案が、市議会臨時議会で全会一致で否決された。削減案は、議員定数を9名から60人に減らすこと。市議会は31日開かれた臨時議会本会議で、全会一致で否決した。削減案は、議員定数を9名から60人に減らすこと。市議会は31日開かれた臨時議会本会議で、全会一致で否決した。

京都党代表 村山祥栄さん
プロ政治家今こそ必要
京都党代表 村山祥栄さん

京都党市議員定数削減目指し
3万7658人分署名提出
京都党市議員定数削減目指し
3万7658人分署名提出

署名が「必要数」に
市議「多い」と
6割が回答
京都党街頭アンケート

市民による定数削減は全国的に注目された

責任を取らない役所体質！台風被害は居眠りなり（２）

台風18号で300世帯が浸水した小栗栖地区。その実は、京都市が所管するポンプ場のポンプが作動しなかったためだった。作動しなかった原因は、ずさんな管理体制と委託業者の居眠り。市の怠慢であることが発覚したことは前号に記したとおりだ。すでに被災者に対する損害賠償は6億近くに上り（最終的に10億前後になる見込み）、体制強化に7億円近い予算の投入が見込まれる。（無駄遣いの極みだとこの予算には反対したが。）京都市は自らの責任を全て委託業者に転嫁し、委託業者に全額弁済を要求している。それはそれでいい。しかし、自分たちの管理監督責任についてはほっかむりだ。その証拠に、市民の生命と財産を守るべき行政が自らのミスで300世帯に大損害を与えておいて、庁内処分者はたった6名、それも文書注意で終わっている。実質処分はなかったということだ。地元に対する謝罪も市長、副市長からは一切聞かれない。こうした誰も責任を取らない行政システムこそが再発を招くのではないだろうか。失敗を誤魔化し、気づけば担当者が変わり、責任者は定年で退職。議会の追及は一時で、喉もと過ぎれば熱さ忘れる。この繰り返しに終止符を打たない限り、本当の行政改革はできない！村山、本当に怒ってます。



水没した小栗栖地区

4年の訴え、リニア誘致運動、ついに動き出す。

リニア誘致は京都党結党時の基幹政策のひとつであり、早くからその重要性を指摘してきた。当初、リニアの重要性を議会で説いても、「いらない」「ムダ」のヤジの大合唱だったが、私自身は、独自に持論を展開してきた。北陸新幹線誘致を放棄して、北陸新幹線誘致で発生する地元負担を全てリニアに使うべき、芸大予定地になっている駅前土地をリニア駅ビル用地としてJR東海に拠出するべき、地元は一円も出さなくてもいいと言われているリニア建設だが、一日も早く市単独で建設に伴う地元の財政負担を負うことを表明するべきなどなど。4年を経て、今年は府市、商工会議所一体となって決起集会が開催され、リニア関連予算が増額、要望してきたリニア推進室も設置された。やっと誘致運動が動き出した。状況は依然厳しいが、継続して訴え続けていく。

NEWS

京都党、左京区市議選は複数擁立

議会において数は力なり。議員定数も含め、議員が少ないことを理由に政治が前に進められなかったこと数知れず。日々本当に悔しい限りです。左京区は議員定数削減対象になりますが、あえて複数擁立に挑戦し、常に背水の陣で、できることをすべてやりたいと思っています。（祥栄）

京都を再び都へ～村山的双京構想～

京都党はかねてより文化首都構想を掲げ、京都は再び都として繁栄するべきだという提言を続けている。その中において、基幹構想となるのが、皇室の方に京都にお住まい頂き、東京と京都という二つの都で日本を牽引する双京構想だ。2月議会では独自の構想を提言した。

明治初期、宮家・公家屋敷が取り潰され、人口が激減し京都はかつての活気を失っていた。当時、京都に行幸された明治天皇が、京都の寂れた姿を大層お嘆きになり、京都に対して多くのご配慮をなされた。例えば、取壊す予定だった御所の保存や、即位礼・大嘗祭は引続き京都で開催することを決定された。この御心こそ、双京構想の出発点とすべきだ。

しかし、現在、御所や離宮はほとんど活用されず、御所に観光客が来ても見所はない。御所や皇室を解説する京都御所博物館建設もいだろうし、御所、離宮の利用促進を図るべく、園遊会やお茶会を御所、離宮でどんどん開催して頂ける様に取り組みのもいい。今は皇室の方がお越しになられても滞在する場所もない。市民の手で宿泊施設を設けてもいいのではないかと。

いずれにせよ、慎重でありながらも、闊達に議論を進め、皇室をお迎えすることをしっかり進めていく必要があるのではないだろうか。（2月代表質問より抜粋）



昨年予算反対から一年、26年度予算改善される！

25年度予算で京都党が予算に反対した理由。それは公債償還基金なる、将来返済に使う積み立てを切り崩して予算編成をしたためであり、これをやりだすと本当に自治体破産の序章となる。ゆえに、絶対に許すまじというスタンスで庁内で野党と言われ干されることも覚悟の上で予算に反対した。一年経ってどうか。平成25年度予算では93億円を切り崩した基金だが、26年度予算では12億円へ大幅に縮小させた。12億でもダメなのだが、12億なら年度中に予算を切り詰めたりすれば十分切り崩し回避可能な数字だ。相当苦しい予算編成をしたのだろうが、この大幅改善には評価。今年は予算に賛成した。

※講演講師・茶話会呼んで下さい！

会合での講演、ご近所さんの茶話会など呼んで頂きましたら喜んで伺います。（少人数でもお気になさらずどうぞ）



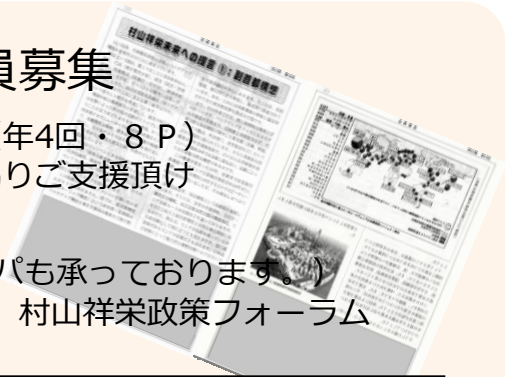
さらに詳しい活動報告は、

機関紙「京都再生」で！ 村山祥栄友の会会員募集

会員証の発行や市政の今を綴った機関紙「京都再生」（年4回・8P）の郵送を通じ、継続的に村山祥栄の政治活動にご理解賜りご支援頂ける会員を募集しております。宜しくお願いします。

年会費 一口3000円（その他、カンパも承っております。）

友の会・カンパ振込先：郵便振替00970-2-181324 村山祥栄政策フォーラム



各種お問い合わせ先 村山祥栄事務所電話075-712-9962 FAX712-9963